

令和7事業年度

財 務 諸 表

第 15 期

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

目 次

貸借対照表	…	1
損益計算書	…	2
キャッシュ・フロー計算書	…	3
利益の処分に関する書類	…	4
業務実施コスト計算書	…	5
注記事項	…	6
附属明細書	…	9

- 1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40特定償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細
- 2 たな卸資産の明細
- 3 有価証券の明細
- 4 無償使用国有財産等の明細
- 5 PFIの明細
- 6 退職給付引当金の明細
- 7 拠出金及び拠出剰余金の明細
- 8 積立金の明細
- 9 業務費及び一般管理費の明細
- 10 運営費補助金等の明細
- 11-1 施設整備費補助金等の明細
- 11-2 補助金等の明細
- 12 役員及び教職員の給与の明細
- 13 開示すべきセグメント情報
- 14 寄附金の明細
- 15 受託研究の明細
- 16 共同研究の明細
- 17 主な資産、負債、費用及び収益の明細
- 18 関連公益法人等に関する明細

貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位:円)

資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		1,659,667,000		
建物	80,094,233,724			
減価償却累計額	<u>-29,341,593,931</u>	50,752,639,793		
構築物	10,528,884,558			
減価償却累計額	<u>-4,050,228,113</u>	6,478,656,445		
機械及び装置	229,545,379			
減価償却累計額	<u>-225,719,155</u>	3,826,224		
工具、器具及び備品	38,621,959,376			
減価償却累計額	<u>-30,981,558,016</u>	7,640,401,360		
図書		16,382,888		
車両運搬具	39,741,509			
減価償却累計額	<u>-27,331,876</u>	12,409,633		
リース資産	436,316,124			
減価償却累計額	<u>-393,241,224</u>	43,074,900		
建設仮勘定		813,640,023		
有形固定資産合計		67,420,698,266		
2 無形固定資産				
特許権		84,037,222		
商標権		2,008,713		
ソフトウェア		53,827,937		
工業所有権仮勘定		146,471,678		
ソフトウェア仮勘定		632,708,064		
その他無形固定資産		8,565,979		
無形固定資産合計		927,619,593		
3 投資その他の資産				
長期性預金		250,000,000		
投資有価証券		366,164		
敷金保証金		775,000		
長期前払費用		2,494,600		
リース投資資産		4,393,324,723		
投資その他の資産合計		4,646,960,487		
固定資産合計			72,995,278,346	
II 流動資産				
現金及び預金		6,557,713,073		
未収入金		795,359,133		
たな卸資産		42,798,636		
前渡金		1,574,660		
前払費用		57,820,368		
立替金		161,072		
リース投資資産		171,428,814		
その他流動資産		1,043,945		
流動資産合計			7,627,899,701	
資産合計				80,623,178,047
負債の部				
I 固定負債				
資産見返補助金等	13,767,043,422			
資産見返寄附金	204,118,782			
資産見返物品受贈額	5,069,035			
退職給付引当金	176,080,600			
長期未払金	4,423,850,106			
長期リース債務	34,006,500			
その他固定負債	3,701,891,379			
固定負債合計			22,312,059,824	
II 流動負債				
前受金	257,137,908			
預り補助金等				
預り運営費	993,587,623			
預り施設整備費	<u>594,457,144</u>	1,588,044,767		
預り寄附金		291,072,312		
預り科学研究費補助金等		312,618,877		
預り金		1,277,502,658		
未払金		3,243,897,608		
短期リース債務		9,068,400		
未払費用		106,255,269		
その他流動負債		108,879,156		
流動負債合計			7,194,476,955	
負債合計				29,506,536,779
純資産の部				
I 拠出金				
拠出金		24,317,681,264		
拠出金合計			24,317,681,264	
II 拠出剰余金				
拠出剰余金		51,185,368,723		
損益外減価償却累計額(-)		<u>-27,960,176,189</u>		
拠出剰余金合計			23,225,192,534	
III 利益剰余金				
任意積立金				
別途積立金		280,532,854		
当期末処分利益		3,293,234,616		
(うち当期総損失)		<u>(-265,773,414)</u>		
利益剰余金合計			3,573,767,470	
純資産合計				51,116,641,268
負債純資産合計				<u>80,623,178,047</u>

損 益 計 算 書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位:円)

経常収益			
授業料収益		143,190,000	
運営費補助金等収益		17,214,062,333	
施設費収益		244,203,198	
受託研究等収入(国又は地方公共団体)		9,236,000	
受託研究等収入(国又は地方公共団体以外)		1,128,484,323	
共同研究収入		138,260,739	
寄附金収益		55,994,316	
補助金等収益		559,268,780	
宿舍料等収入		10,749,194	
土地建物賃貸料収入		30,723,503	
資産見返補助金等戻入		3,012,918,660	
資産見返寄附金戻入		67,548,798	
財務収益			
受取利息	93,936,268		
為替差益	4,954,638		
その他財務収益	140	98,891,046	
雑益		456,822,905	
経常収益合計		456,822,905	23,170,353,795
経常費用			
業務費			
人件費		8,637,260,156	
経費			
研究資材費	1,064,568,662		
備品費及び消耗品費	330,938,795		
水道光熱費	1,482,552,534		
旅費交通費	757,950,118		
通信運搬費	49,254,737		
賃借料	511,762,873		
業務委託費	838,870,316		
修繕費	406,290,972		
保守管理費	2,158,251,195		
図書費	250,848,096		
減価償却費	3,557,100,909		
その他の業務経費	170,745,158	11,579,134,365	20,216,394,521
一般管理費			
人件費		1,518,127,017	
経費			
備品費及び消耗品費	82,864,418		
旅費交通費	140,432,283		
通信運搬費	62,723,561		
賃借料	71,541,591		
業務委託費	492,255,740		
役務費	122,672,363		
広告費	17,275,164		
減価償却費	42,635,925		
租税公課	261,482,512		
その他の管理経費	308,529,980	1,602,413,537	3,120,540,554
財務費用			
支払利息		100,393,331	100,393,331
経常費用合計		100,393,331	23,437,328,406
経常損失			△ 266,974,611
臨時利益			
資産見返補助金等戻入		959,043	
資産見返寄附金戻入		715,419	
固定資産売却益		1,201,200	
臨時利益合計		1,201,200	2,875,662
臨時損失			
固定資産除却損		715,596	
過年度損益修正損		958,869	
臨時損失合計		958,869	1,674,465
当期純損失			△ 265,773,414
当期総損失			△ 265,773,414

キャッシュ・フロー計算書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
授業料収入	143,190,000
運営費補助金等収入	21,250,876,071
受託研究等収入	1,242,613,689
寄附金収入	131,854,294
補助金等収入	782,259,098
宿舍料等収入	10,749,194
その他業務収入	363,509,808
預り科学研究費補助金等の受払	39,368,428
人件費支出	-10,121,362,309
たな卸資産取得による支出	-7,242,820
その他業務支出	-9,658,319,156
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>4,177,496,297</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	-8,597,078,911
有形固定資産の売却による収入	1,201,200
無形固定資産の取得による支出	-346,521,448
施設整備補助金等による収入	3,020,516,963
その他	-157,585,471
小計	<u>-6,079,467,667</u>
利息及び配当金の受取額	504,547
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>-6,078,963,120</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-2,267,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>-2,267,100</u>
IV 資金に係る換算差額	4,954,778
V 資金増加額	-1,898,779,145
VI 資金期首残高	8,456,492,218
VII 資金期末残高	<u><u>6,557,713,073</u></u>

利益の処分に関する書類
(令和8年3月31日)

(単位:円)

I 当期末処分利益	
当期総損失	△ 265,773,414
前期繰越利益	3,609,008,030
II 利益処分量	
別途積立金	50,000,000
III 次期繰越利益	<u>3,293,234,616</u>

注) 令和8年6月に開催される第62回理事会において、令和7年度に次期繰越利益のうち5千万円を宿舎大規模修繕のための修繕積立金(別途積立金)として利益処分することを決議予定です。

業 務 実 施 コ ス ト 計 算 書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位:円)

I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
業務費	20,216,394,521		
一般管理費	3,120,540,554		
財務費用	100,393,331		
臨時損失	1,674,465	23,439,002,871	
(2) (控除) 自己収入等			
授業料収益	△ 143,190,000		
受託研究収入	△ 1,137,720,323		
共同研究収入	△ 138,260,739		
寄附金収益	△ 55,994,316		
宿舍料等収入	△ 10,749,194		
土地建物賃貸料収入	△ 30,723,503		
資産見返寄附金戻入	△ 68,264,217		
財務収益	△ 98,891,046		
雑益	△ 339,672,027	△ 2,023,465,365	
業務費用合計		21,415,537,506	
II 損益外減価償却相当額			2,320,796,989
III 引当外退職給付増加見積額			3,587,700
IV 機会費用			
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	165,564,459		
政府拠出等の機会費用	1,132,788,735	1,298,353,194	
V 業務実施コスト			25,038,275,389

注記事項

I.重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
総平均法に基づく低価法

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産(沖縄科学技術大学院大学学園会計基準 第40)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、抛出剰余金から控除して表示しております。

(2)無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいております。

3. 引当金の計上基準

(1)退職給付引当金

役員及び教職員の退職給付に備えるため、当該事業年度における期末要支給額を計上しております。

4. 業務実施コスト計算書における機会費用等の計上方法

(1)国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算
恩納村分屯基地・農地単価を基に計算しております。

(2)政府抛出国債に係る機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和8年3月末利回りを参考に2.345%で計算しております。

5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

ただし、ファイナンス・リース取引のうちリース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. 収益及び費用の計上基準

(1)ファイナンス・リース取引(貸主側)に係る収益の計上基準

売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっております。

(2)教育研究等のサービスの提供に係る収益

本学が提供する教育研究等のサービスに係る収益として、授業料収益、受託研究等収入、共同研究収入があります。

授業料収益については、当事業年度の授業料として受領した対価を収益として認識しております。受託研究等収入及び共同研究収入については、複数年度契約の場合は、契約の最終年度以外では当該研究等のための費用化額を限度として収益を認識し、契約の最終年度では契約上の対価のうち未収益化額を収益として認識しております。

8. 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 追加情報

1. ビレッジゾーン宿舎の取引概要及び会計処理

当学園は、平成23年9月30日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結致しました。事業者は、当該契約に基づき、当学園の保有する敷地内に教職員及び学生のための宿舎を建設し、完工後当学園に宿舎を譲渡いたします。宿舎の建設は、フェーズ1(第1期～第3-2期)に渡り、平成27年度においては第3-2期分が完成し、当学園に引き渡しが行われております。フェーズ2として当学園は、令和元年6月11日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和2年度にヒルサイド及びサウスヒルA・B・Cの宿舎の完成及び引渡が行われております。当学園は、宿舎の完成に際し、事業者より、長期割賦購入で譲り受けると同時に、事業者と定期建物賃貸借契約を締結し宿舎を賃貸しております。宿舎の賃貸に係るリース料と宿舎の譲受に係る長期割賦購入額は同額となり、且つ支払スケジュール及び利息を含む各年度の支払額も同額で設定されているため、各年度の支払額は相殺されお互いの支払は発生しません。そして、定期建物賃貸借契約において、事業者は原則として中途解約が出来ない旨、及びリース期間満了後は宿舎を当学園に返還する旨を定めており、当学園は、事業者への賃貸取引について、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理を実施しております。尚、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理の実施に際しては、売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっており、譲り受けた宿舎をリース投資資産に計上しております。当学園は、フェーズ3として令和元年3月29日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和3年度にThe Gardens宿舎の引渡が行われています。当学園は、宿舎の完成に伴い、事業者より宿舎を譲り受けると同時に、当該宿舎に運営権を設定し事業者に譲渡しております。建物の取得対価と運営権の譲渡対価は同額であり、支払い額は相殺されお互いの支払いは発生しません。譲り受けた宿舎は建物に計上し、譲渡した運営権の対価はその他固定負債に計上しております。建物およびその他固定負債は、契約期間にわたり、減価償却費の計上、その他雑益への振替を行っております。

III. 貸借対照表関係

1. 預り補助金等の内訳

(1) 預り運営費

学園取得の建設仮勘定見返運営費補助金等残高	216,212,879 円
学園取得の工業所有権仮勘定見返運営費補助金等残高	145,071,678 円
学園取得のソフトウェア仮勘定見返運営費補助金等残高	632,303,066 円
期末残高	993,587,623 円

(2) 預り施設整備費

学園取得の建設仮勘定見返施設費残高	594,457,144 円
期末残高	594,457,144 円

IV. キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	6,557,713,073 円
資金期末残高	6,557,713,073 円

(2) 重要な非資金取引の内容

当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース資産の額	45,342,000 円
当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース債務の額	45,342,000 円

V. 業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額には、国等からの出向職員に係るものが、3,587,700円含まれております。

VI.ファイナンス・リース取引に関する注記

1. 借手側

(1) リース資産の内容

業務車両(OISTバス)及び研究機器(X線光電子分光分析装置等)

(2) リース資産の減価償却の方法

<所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産>

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

<所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産>

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 貸手側

(1) リース投資資産の内訳

①投資その他の資産

リース料債権部分 5,342,185,100 円

受取利息相当額 △ 948,860,377 円

リース投資資産 4,393,324,723 円

②流動資産

リース料債権部分 261,349,249 円

受取利息相当額 △ 89,920,435 円

リース投資資産 171,428,814 円

(2) リース投資資産に係るリース料債権部分の決算日後の回収予定額

①投資その他の資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	-	261,586,776	261,829,858	262,078,620	262,333,218	4,294,356,628

②流動資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	261,349,249	-	-	-	-	-

VII.重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細

(単位:千円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引 当期末残高	摘要
					当期償却額	当期償却額	当期損益内	当期損益外		
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	16,305,059	291,515	1,320	16,595,254	5,419,624	685,795	-	-	11,175,630
	構築物	545,916	11,813	-	557,729	308,263	19,037	-	-	249,466
	機械装置	186,711	1,155	1,403	186,464	184,106	1,268	-	-	2,357
	工具器具備品	35,392,203	3,463,185	643,420	38,211,968	30,727,639	2,837,475	-	-	7,484,329
	図書	14,829	1,553	-	16,382	-	-	-	-	16,382
	車両運搬具	34,842	4,899	-	39,741	27,331	4,174	-	-	12,409
	リース資産	1,078,866	45,342	687,892	436,316	393,241	2,267	-	-	43,074
計	53,558,430	3,819,464	1,334,036	56,043,858	37,060,207	3,550,019	-	-	18,983,651	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	61,027,773	2,471,204	-	63,498,978	23,921,969	1,976,139	-	-	39,577,009
	構築物	9,799,727	171,427	-	9,971,154	3,741,965	299,562	-	-	6,229,189
	機械装置	43,080	-	-	43,080	41,612	2,886	-	-	1,468
	工具器具備品	358,138	53,302	1,450	409,990	253,918	42,208	-	-	156,072
	計	71,228,720	2,695,934	1,450	73,923,204	27,959,465	2,320,796	-	-	45,963,739
非償却資産	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667
	建設仮勘定	1,376,568	2,419,884	2,982,812	813,640	-	-	-	-	813,640
計	3,036,235	2,419,884	2,982,812	2,473,307	-	-	-	-	2,473,307	
有形固定資産合計	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667
	建物	77,332,833	2,762,720	1,320	80,094,233	29,341,593	2,661,934	-	-	50,752,639
	構築物	10,345,644	183,240	-	10,528,884	4,050,228	318,600	-	-	6,478,656
	機械装置	229,792	1,155	1,403	229,545	225,719	4,155	-	-	3,826
	工具器具備品	35,750,342	3,516,487	644,870	38,621,959	30,981,558	2,879,684	-	-	7,640,401
	図書	14,829	1,553	-	16,382	-	-	-	-	16,382
	車両運搬具	34,842	4,899	-	39,741	27,331	4,174	-	-	12,409
	リース資産	1,078,866	45,342	687,892	436,316	393,241	2,267	-	-	43,074
建設仮勘定	1,376,568	2,419,884	2,982,812	813,640	-	-	-	-	813,640	
計	127,823,385	8,935,283	4,318,298	132,440,370	65,019,672	5,870,816	-	-	67,420,698	
無形固定資産 (償却費損益内)	特許権	253,085	14,175	12,979	254,281	170,244	28,651	-	-	84,037
	商標権	3,585	-	-	3,585	1,576	246	-	-	2,008
	ソフトウェア	1,220,713	21,362	-	1,242,076	1,188,248	19,689	-	-	53,827
	その他無形固定資産	64,081	-	-	64,081	55,515	1,130	-	-	8,565
計	1,541,466	35,537	12,979	1,564,025	1,415,585	49,717	-	-	148,439	
無形固定資産 (償却費損益外)	その他無形固定資産	711	-	-	711	711	-	-	-	-
非償却資産	工業所有権仮勘定	131,973	68,209	53,710	146,471	-	-	-	-	146,471
	ソフトウェア仮勘定	146,391	486,316	-	632,708	-	-	-	-	632,708
	計	278,364	554,526	53,710	779,179	-	-	-	-	779,179
無形固定資産合計	特許権	253,085	14,175	12,979	254,281	170,244	28,651	-	-	84,037
	商標権	3,585	-	-	3,585	1,576	246	-	-	2,008
	ソフトウェア	1,220,713	21,362	-	1,242,076	1,188,248	19,689	-	-	53,827
	工業所有権仮勘定	131,973	68,209	53,710	146,471	-	-	-	-	146,471
	ソフトウェア仮勘定	146,391	486,316	-	632,708	-	-	-	-	632,708
	その他無形固定資産	64,792	-	-	64,792	56,226	1,130	-	-	8,565
計	1,820,541	590,064	66,689	2,343,915	1,416,296	49,717	-	-	927,619	
投資その他の資産	長期性預金	200,000	50,000	-	250,000	-	-	-	-	250,000
	投資有価証券	-	366	-	366	-	-	-	-	366
	敷金保証金	775	-	-	775	-	-	-	-	775
	長期前払費用	9,994	954	8,454	2,494	-	-	-	-	2,494
	リース投資資産	4,564,753	-	171,428	4,393,324	-	-	-	-	4,393,324
計	4,775,522	51,320	179,882	4,646,960	-	-	-	-	4,646,960	

注) 1. 建物の当期増加額の主な内容 第2データセンター関連 1,859,638千円 センター棟関連 267,041千円 第一研究棟関連 237,040千円

2. 構築物の当期増加額の主な内容 第2データセンター関連 111,575千円

3. 工具器具備品の当期増加額の主な内容 Research Data Storage 2025 627,000千円 Bruker timsTOF flex MALDI-2 275,780千円

2. たな卸資産の明細

(単位:千円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
研究資材	38,123	0	-	801	-	37,321	
その他	9,180	7,242	-	10,946	-	5,477	
計	47,304	7,242	-	11,748	-	42,798	

3. 有価証券の明細

投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:千円)

		銘柄等	取得価額	券面総額	時価又は 実質価額	貸借対照表 計上額	損益に 含まれた 評価差額	その他 有価証券 評価差額	摘要
その他有価証券	時価のあるもの		-	-	-	-	-	-	
	時価のないもの	Qubitcore株式会社	-	-	-	366	-	-	新株予約権366,000株無償割当
		Sylcast SAS	-	-	-	0	-	-	新株予約権1株無償割当
合計			-	-	-	366	-	-	

4. 無償使用国有財産等の明細

区分	種別	所在地	面積(m ²)	構造	機会費用の 金額(千円)	摘要
土地	メインキャンパス	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地	624,751.77	-	163,597	
土地	瀬良垣臨海研究施設	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣瀬良垣原656番地	7,511.50	-	1,966	
	合計		632,263.27	-	165,564	

5. PFIの明細

事業名	事業概要	施設所有形態	契約先	契約期間	摘要
沖縄科学技術大学院大学 宿舎整備事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE 株式会社	平成23年9月30日 ～ 令和27年3月31日	第1期:平成24年8月～平成25年1月の間に順次引渡 第2期:平成25年6月引渡 第3-1期:平成26年8月引渡 第3-2期:平成27年8月及び10月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第2期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社	令和元年6月11日 ～ 令和42年3月31日	ヒルサイド: 令和2年7月引渡 サウスヒルA: 令和2年7月引渡 サウスヒルB: 令和2年9月引渡 サウスヒルC: 令和2年9月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第3期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社	令和元年3月29日 ～ 令和43年3月31日	The Gardens: 令和3年8月引渡

6. 退職給付引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	156,575	19,504	-	176,080	
退職一時金に係る債務	156,575	19,504	-	176,080	
未認識過去勤務債務	-	-	-	-	
未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	156,575	19,504	-	176,080	

7. 拠出金及び拠出剰余金の明細

(単位:千円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
拠出金	政府拠出金	24,317,681	-	-	24,317,681	
	計	24,317,681	-	-	24,317,681	
拠出剰余金	拠出剰余金					
	施設費	48,490,884	2,695,934	1,450	51,185,368	
	計	48,490,884	2,695,934	1,450	51,185,368	
	損益外減価償却累計額	25,640,829	2,320,796	1,450	27,960,176	
	差引計	22,850,055	375,137	0	23,225,192	

注) 1. 施設費の当期増加額は、第2データセンター等 1,833,790千円等、当期減少額は、超純水装置Mili-Q Integral3SUハイタイプ[®]の除却による影響 1,450千円によるものであります。

2. 損益外減価償却累計額の当期減少額は、超純水装置Mili-Q Integral3SUハイタイプ[®]の除却による影響 1,450千円によるものであります。

8. 積立金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
別途積立金	58,867	-	-	58,867	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた退職給付引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	21,665	-	-	21,665	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた賞与引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	150,000	50,000	-	200,000	宿舎大規模修繕のための修繕積立金。
計	230,532	50,000	-	280,532	

9. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科目	金額	摘要
業務費		
基本給	7,210,286	
諸手当	380,669	
通勤手当	66,208	
超過勤務手当	64,225	
その他給与	26,549	
退職給付費用	8,124	
法定福利費	881,196	
研究資材費	1,064,568	
備品費	205,483	
消耗品費	125,454	
水道光熱費	1,482,552	
国内旅費	145,736	
外国旅費	333,504	
国内招聘旅費	132,805	
外国招聘旅費	132,042	
国内その他旅費	4,218	
外国その他旅費	9,642	
通信運搬費	49,254	
支払リース料	47,555	
土地建物賃借料	442,489	
その他賃借料	21,717	
福利厚生費	14	
行事費	38,112	
支払手数料	6,895	
諸会費	49,164	
会議費	6,584	
研修費	6,298	
諸謝金	26,020	
業務委託費	838,870	
修繕費	406,290	
保守管理費	2,158,251	
損害保険料	16,162	
広告費	7,919	
建物減価償却費	681,338	
構築物減価償却費	18,956	
機械装置減価償却費	1,268	
工具器具備品減価償却費	2,829,087	
車両運搬具減価償却費	4,174	
無形固定資産減価償却費	20,008	
リース資産減価償却費	2,267	
図書費	250,848	
租税公課	2,976	
輸入消費税	8,012	
その他の経費	2,582	
計	20,216,394	
一般管理費		
役員報酬	103,989	
役員諸手当	960	
役員通勤手当	178	
基本給	1,091,427	
諸手当	81,816	
通勤手当	18,817	
超過勤務手当	31,318	
その他給与	6,622	
退職給付費用	11,950	
法定福利費	171,045	
研究資材費	22,036	
備品費	28,192	
消耗品費	54,671	
水道光熱費	3,474	
国内旅費	41,586	
外国旅費	14,326	
国内招聘旅費	16,106	
外国招聘旅費	30,178	
国内その他旅費	16,297	
外国その他旅費	21,936	
通信運搬費	62,723	
支払リース料	37,874	
土地建物賃借料	32,959	
その他賃借料	706	
福利厚生費	16,452	
行事費	4,561	
支払手数料	54,003	
諸会費	9,324	
会議費	5,235	
研修費	6,427	
報酬	99,980	
諸謝金	22,691	
業務委託費	492,255	
修繕費	10,613	
保守管理費	17,048	
損害保険料	38,203	
広告費	17,275	
特許経費	34,171	
建物減価償却費	4,457	
構築物減価償却費	81	
工具器具備品減価償却費	8,388	
無形固定資産減価償却費	29,709	
図書費	1,851	
租税公課	261,482	
輸入消費税	32	
その他の経費	85,092	
計	3,120,540	

10. 運営費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	当期振替額					摘要
		建設仮勘定見返補助金等	工業所有権仮勘定見返補助金等	ソフトウェア仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	収益計上	
沖縄科学技術大学院大学 学園補助金	20,369,842	173,452	53,208	485,911	2,463,587	17,193,681	
合計	20,369,842	173,452	53,208	485,911	2,463,587	17,193,681	

注) 損益計算書の運営費補助金等収益には過年度取得仮勘定からその他の経費へ振替えた20,380千円が含まれております。

11-1. 施設整備費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返施設費	拠出剰余金	預り施設費	その他	
令和4年12月7日付府沖振第276号 第2データセンター施設整備	1,181,358	-	1,179,369	-	1,989	
令和6年12月18日付府沖振第369号 シーサイドハウス改修整備事業	43,762	43,762	-	-	-	
令和6年12月18日付府沖振第370号 基幹環境整備	421,872	16,962	404,293	-	616	
令和7年3月27日付府沖振第113号 基幹環境整備	499,585	125,392	140,718	-	233,475	
令和7年4月4日付読谷村指令第29号 人材育成施設整備支援事業	79,971	-	73,172	-	6,799	
計	2,226,550	186,116	1,797,553	-	242,880	

11-2. 補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		資産見返 補助金等	長期預り 補助金等	収益計上	その他	
沖縄科学技術大学院大学 SDGs 社会課題解決型起業促進事業補助金	22,113	1,498	-	20,615	-	
令和7年度沖縄型スタートアップ拠点化推進事 業費補助金	9,796	-	-	9,796	-	
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療研究開発推進事業費補助金	22,578	-	-	22,525	52	その他は返還予定額
令和6年度 地域中核大学イノベーション創出 環境強化事業交付金	142,000	-	-	142,000	-	
令和5年度 地域中核・特色ある研究大学強化 促進事業助成金	2,341,232	871,915	-	345,089	1,124,226	その他は繰越予定額
令和7年度グローバル卓越人材招へい研究大 学強化事業助成金	40,491	20,017	-	17,920	2,552	その他の内 156千円返還予定額、 2,396千円繰越予定
令和7年度 恩納村待機児童対策特別事業等 補助金(認可外保育施設研修事業)	123	-	-	123	-	
令和7年度 恩納村待機児童対策特別事業等 補助金(新すこやか保育事業)	881	-	-	881	-	
令和7年度 恩納村保育対策総合支援事業費 補助金	172	-	-	172	-	
クリーンエネルギー自動車導入促進補助金	568	-	-	144	423	その他は繰越額
計	2,579,956	893,431	-	559,268	1,127,255	

12. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:千円)

区分	報酬又は給与		退職給付	
	支給額	支給人員(人)	支給額	支給人員(人)
役員	(6,800)	(2)	(-)	(-)
	98,327	3	-	-
教職員	(33,392)	(24)	(-)	(-)
	8,944,549	1,305	-	-
合計	(40,192)	(26)	(-)	(-)
	9,042,877	1,308	-	-

注) 1. 役員(含む非常勤役員)報酬及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

2. 教職員給与及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

3. 報酬又は給与における支給人員数は、年間平均支給人員を記載しております。

4. 損益計算書の人件費の中には、上記給与の他に法定福利費1,052,241千円が含まれております。

5. ()は、非常勤の役職員に対するもので、外数であります。

6. 上記の支給額には、賞与引当金及び退職給付引当金に係る繰入額は含まれておりません。

7. 期末現在の役員数は7人ですが、うち2名には教職員給与を支給しており、当該2名分の支給額と支給人員数を教職員区分欄に記載しているため、役員について期末現在の人員数と上表の支給人員数とが相違しております。

13. 開示すべきセグメント情報

(単位:千円)

区分	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
業務収益						
授業料収益	-	-	143,190	143,190	-	143,190
運営費補助金等収益	7,631,382	5,113,767	1,585,677	14,330,827	2,883,234	17,214,062
施設費収益	-	-	-	-	244,203	244,203
受託研究等収入	1,133,401	119,693	-	1,253,094	22,886	1,275,981
寄附金収益	46,133	3,010	2,997	52,141	3,852	55,994
補助金等収益	62,723	318,964	4,866	386,553	172,715	559,268
資産見返補助金等戻入	773,246	2,199,704	2,405	2,975,356	37,561	3,012,918
資産見返寄附金戻入	62,684	4,718	-	67,403	145	67,548
その他収入	1,314	66,033	9,058	76,406	421,889	498,295
財務収益	-	93,431	-	93,431	5,459	98,891
小計	9,710,886	7,919,324	1,748,195	19,378,406	3,791,947	23,170,353
業務費用	9,707,581	8,412,698	1,716,693	19,836,973	3,600,354	23,437,328
業務損益	3,304	△493,373	31,501	△458,567	191,593	△266,974
資産	2,124,885	71,019,763	22,913	73,167,562	7,455,615	80,623,178

(セグメント情報の注記事項)

(1) セグメントの区分方法及び各業務の内容

各業務の内容

研究ユニット	神経科学、分子科学、数学・計算科学の研究開発の推進、研究者養成活動等
研究サービス	研究ユニットの支援業務、研究成果の普及等
教育関連	学生の受入・教育に係る業務等

(2) 業務費用のうち、全学園の項目に含めた配賦不能費用は、主に管理部門に係る下記費用であります。

人件費	1,518,127	千円
その他経費	1,049,826	千円
業務委託費	492,255	千円

(3) 資産のうち、全学園の項目に含めた資産は、主に下記の通りであります。

現金及び預金	6,557,713	千円
未収入金	60,081	千円

(4) 損益外減価償却相当額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は下記の通りであります。

(単位:千円)

	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
損益外減価償却相当額	-	2,320,407	389	2,320,796	-	2,320,796
引当外退職給付増加見積額	-	-	-	-	3,587	3,587

14. 寄附金の明細

区分	当期受入(千円)	件数(件)	摘要
研究ユニット	111,068	37	現物寄附 21件:12,602千円
研究サービス	10,152	34	現物寄附 0件: 0千円
教育関連	2,597	85	現物寄附 85件:2,597千円
全学園	8,242	49	現物寄附 0件: 0千円
合計	132,061	205	

15. 受託研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	141,897	964,040	995,141	110,796
研究サービス	-	121,967	119,693	2,274
全学園	18,533	22,705	22,886	18,352
合計	160,430	1,108,713	1,137,720	131,423

16. 共同研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	116,458	131,007	138,260	109,205
合計	116,458	131,007	138,260	109,205

17. 主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:千円)

内訳	金額
現金	322
普通預金	6,557,390
現金及び預金計	6,557,713
長期性預金	250,000

注) 1. 長期性預金は、宿舎大規模修繕のための修繕積立資金です。

(2) 科学研究費補助金等の明細

(単位:千円)

種目	当期受入額	件数	摘要
基盤研究(A)	(40,966) 9,997	(13) 12	
基盤研究(B)	(125,200) 35,880	(38) 39	
基盤研究(C)	(57,387) 17,066	(53) 52	
基盤研究(S)	(1,750) 525	(2) 2	
挑戦的研究(開拓・萌芽)	(4,300) 1,290	(5) 5	
若手研究	(58,649) 16,429	(42) 40	
特別研究員奨励費	(42,285) 4,868	(49) 19	
国際共同研究加速基金(帰国発展)	(15,700) 4,710	(1) 1	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	(150) 195	(1) 2	
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	(400) 120	(1) 1	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	(9,435) -	(1) -	
学術変革領域研究(A)	(120,894) 29,962	(18) 17	
学術変革領域研究(B)	(33,247) 9,974	(2) 2	
学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成)	(3,000) 780	(1) 1	
日本学術振興会調査研究費	(4,570) -	(4) -	
笹川科学研究助成金	(1,400) -	(1) -	
内藤記念女性研究者研究助成金	(2,000) -	(1) -	
長尾自然環境財団	(7,996) -	(1) -	
橋渡し研究プログラム	(275) -	(1) -	
HFSP研究グラント	(35,201) -	(2) -	
日本しろあり対策協会研究助成	(500) -	(1) -	
国文研プロジェクト型共同研究	(1,000) -	(1) -	
研究活動スタート支援	(4,000) 1,200	(4) 4	
公益財団法人井上科学振興財団	(600) -	(1) -	
テルモ生命科学振興財団	(500) -	(1) -	
放送文化基金	(3,000) -	(1) -	
公益財団法人 上原記念生命科学財団	(800) -	(1) -	
Google Easst Asia PhD Fellowship Program	(1,514) -	(1) -	
合計	(576,725) 132,999	(248) 197	

注) 1. 当期受入額は、科学研究費補助金等の間接経費相当額を記載しております。また()は、直接経費相当額で外数にて記載しております。

注) 2. 科学研究費補助金等の研究課題
研究基盤(A)

- 超大ブラックホールのスピン測定と磁場を介した回転エネルギー抽出機構の検証
- 分散性のある大規模量子コンピュータアーキテクチャ
- 統合型沿岸環境解析システム開発に基づくマルチスケール海洋環境動態解析
- 多体励起子の時空間・逆空間イメージングから迫る凝縮体の量子相制御
- 深場の白化避難地からの幼生供給に基づく優先サンゴ礁保全区域の解明
- なぜ褐虫藻は過酷なサンゴ礁環境で高い光合成能力を発揮できるのか？
- 包括的全脳光計測とE/I不均衡動物で捉える動的サリエント(顕著性)ネットワーク機能
- オーロラ電流系エミュレータとデータ同化による電離圏ジュール加熱の時空間変動の解明
- 離散群に潜む新しい構造の発見と解明
- 3次元双曲多様体上の量子トポロジー
- 幾何学的群論における新しい指導的理論の確立
- 超高精度炭素14分析で探る大規模グラウンドミニマムの発生プロセス
- マルチスケール宇宙線生成核種分析より紐解く地質時代の宇宙・地球現象と環境変動

研究基盤(B)

- Imaging trions and their dynamics in momentum space
- Role of Dynein Heavy Chain 3'UTR in the axonal localization and translation of its mRNA
- Visualization of degradation mechanisms and ions migration pathways in perovskite solar cells
- サンゴ共生微生物の代謝産物利用の技術開発に基づいた共生機構の解明
- 刺胞動物の咽頭神経系の発生・生理・機能的解析から迫る集積神経系の進化的起源
- 幼少期の社会的音声コミュニケーションが制御する高次機能発達の神経メカニズムの解明
- Realization of high-fidelity quantum logic gates using electron spins on superfluid helium
- 好奇心と記憶が織りなす新奇性追求行動の神経基盤とその可変性
- アリの分類学的・系統的・機能的多様性の地球規模のパターンと脊椎動物との適合性
- Genetic targeting of a synthetic dye for voltage imaging of cerebellar Purkinje neurons during a tongue grasping task
- 繊毛構造上で生じる粘弾性流れ: キヤノピー内での弾性乱流
- Structure-guided modular phage engineering
- Unraveling exciton dynamics for valleytronics applications with Time-resolved ARPES
- 細胞膜損傷による細胞老化の分子基盤と個体老化への寄与の理解
- DNA replication dynamics in living bacteria
- マウス初期胚でのCCR4-NOT遺伝子制御複体の役割
- Unraveling enzyme functions in liquid-liquid phase separation droplets
- 寄主シロアリとの共進化に伴う好白蟻性ハネカクシの多様化
- 安定電荷を利用した電荷蓄積型有機ドシメーターの実現
- 比較神経科学でひも解くREM睡眠の共通原理
- Spatiotemporal dynamics of acetylcholine activity in adaptive behaviors and response patterns
- 大気中の人為起源二次有機エアロゾル濃度評価に利用可能な新規トレーサの提案
- 皮膚における物体表現の形成 --- 中間層における混合同時選択性と集団符号化
- 二つのらせん部位を有する新奇ナノグラフェンの合成と評価
- 海洋熱波は生物集団をどう変える？ヤリイカの表現型多型決定プロセスの解明
- 高次元大規模最適輸送基盤技術の研究開発
- 日常生活動作の予測に基づく居宅介護ケアプランの最適化手法の確立
- 粒子濃縮層への重力作用を利用した「粒子充填のしやすさ」計測法の実証とミニチュア化
- 将来の不確実性に頑健な保護区導入手法の構築およびその実装
- 極低温・強磁場で高Q値を持つ超伝導共振器の開発
- 一微粒子解析プラットフォームの構築と細菌膜小胞における多様性の統合的理解
- 初期胚紡錘体の特殊構造の形成とその構造変化の仕組み
- 単細胞のまま大型化・複雑化した有孔虫の2つの進化戦略: 疑似多室化と細胞内機能分化
- Unveiling TRβ's Role in Species-Specific Ontogeny and Pigmentation in Clownfish
- Scanning plasmonic optical fiber tip device for the creation and manipulation of nanoscale electric field spin skyrmion
- 個体差に注目したサンゴの高水温耐性と白化現象のメカニズムの解明
- サンゴ組織内細菌集合体のin situ共生機構解明
- 太陽活動と大規模フレア・CMEの発生確率の関係の解明
- なぜ健康で長寿なのか？長寿者の細菌叢と老化をバイオインフォマティクスで解説する
- Accounting for evolutionary and socioeconomic impacts in modern fisheries science and management
- Development of Nano Gas Sensors Based on Single Atomically Precise Graphene Nanoribbons
- Elucidating the mechanism that measures mitotic duration to prevent proliferation of defective cells

研究基盤(C)

- Fiber-integrated diamond-based whispering-gallery-mode magnetometers
- KLR algebras and wreath zigzag algebras (KLR 代数とリース ズグザグ代数)
- large benthic foraminifera as a model for eukaryote-eukaryote photosymbiosis
- Modeling plant adaptation in the context of climate change using genomics and epigenomics of stress tolerant Mangrove trees
- Photoinduced C-H bond fluoroalkylation and aryl-heteroatom coupling catalyzed by naphthyridine complexes of earth-abundant metals
- Role of amygdala in fear and anxiety behaviors.
- Sorting and Imaging Micro- and Nano-Particle Pollutions in Aqueous Systems Using a Chiral Plasmonic Optical Tweezers
- Using symmetry to enhance quantum batteries and heat engines
- やんばるの森から放出される揮発性有機化合物が大気環境へ与える影響の機械学習的評価
- 距離空間における非線形偏微分方程式の研究
- 巧緻運動(手指の細かい動き)における脳-脊髄神経回路の新規制御機構の解明
- 神経伝達物質輸送速度に伴って変動するシナプス素量成立時間の多様性とその生理的意義
- 脊椎動物はいつキチンを失い、粘液層定着型の腸内細菌との共生関係を成立させたか？
- 腸内細菌叢制御を目指したV型線毛付着機構の理解と抑制法開発
- Building a 1D chain of Rydberg atoms via an optical nanofibre interface
- 光情報伝達の主要蛋白である維体型PDE6変異による視細胞変性の分子機構の解明
- Large Amplitude Oscillatory Extension (LAOE)
- 加齢に伴う脂肪組織内M1マクロファージ分化感受性変化とその相互作用機序に関する研究
- Economic model of the spillover effects of protected areas on deforestation activity
- Spatiotemporal dynamics of acetylcholine activity in adaptive behaviors and response patterns
- キラル誘導体イオン移動度質量分析によるD-アミノ/酸イメージング法の開発
- クシクラゲ筋肉の多角的解析によりせまる筋肉の祖先的形質
- Illusory olfactory stimuli to probe pathway-specific stimulus encoding
- A general strategy to synthesize semiconducting polymers within one minute
- On combinatorics, the algebra, topology, and geometry of a new class of graphs that generalize ordinary and ribbon graphs
- Investigating the role of projectile density in impact cratering with a focus on low-density projectiles.
- Self-Organizing Wave Formation in Quasi-2D Shear Turbulence
- Exploring the spin-orbit interaction of light in the whispering gallery mode hollow-microcavities

- Elucidating the spatiotemporal activation of microtubule nucleation at mitotic centrosomes
- 身体的接触による愛着形成の神経メカニズムの解明
- Unlocking genomic treasures in deep-sea fungi
- AIプロテオミクスを利用した緑内障視神経障害関連リン酸化タンパク質の解析
- Towards a real implementation of quantum network systems
- Advancing Shrimp Farming: Environmental DNA and RNA as biomarkers in shrimp aquaculture
- 初期胚紡錘体の特殊構造を作る染色体派生シグナルの機能
- 琉球の織物の伝統的な仕上げ加工の解析
- 理論と実験の協奏で切り拓く量子磁性体の多体量子もつれ特性
- Differential Mechanisms of Rod and Cone Photoreceptor Cells in Preserving ER Proteostasis in Retinal Degeneration
- 自然免疫記憶はどのようにして耐糖能に影響を及ぼすのか=BCG接種モデルで考える=
- 細胞膜損傷による細胞老化機構の超解像顕微鏡による解明と既存薬による細胞老化抑制
- Development of In-Operando Transmission Electron Microscopy for the Characterization of CuO Nanowire Sensors
- Nonlinear potential theory on metric spaces
- Functional significance of surface molecules of senescence-associated extracellular vesicles in aging-induced immune deficiency
- 水晶体の発生を制御するFGFの可視化から迫るFGFシグナリングの時空間調節メカニズム
- Leveraging Motivational Characteristics in ADHD: Mobile Health Innovation through Randomized-Controlled Microtrials of Modular Parent Training
- Evaluating the Resilience of Climate Corridors for Plant Diversity in Japan
- シロイヌナズナにおけるセントロメア機能制御因子の探索
- 脳損傷時の巧緻運動機能回復における脳幹-脊髄経路の役割の解明
- Metric Sobolev spaces, Derivatives, Embedding theorems
- ミトコンドリアTORC1の制御機構と生理的意義の解明
- アイドリング脳の作動原理
- CALET長期観測による地球・太陽圏から銀河系の宇宙線物理学の新概念構築
- 腸内微生物の実験的置換によるシロアリ進化の追体験
- 1細胞蛍光強度測定法を応用した細菌表面性状の新規測定法の開発
- 細胞膜上シグナル変換のホットスポット検出のための1分子プローブライブラリーの開発
- 融合型バイオセンサーシステムの開発とそのがん研究への応用
- 視覚シグナルを介した種内コミュニケーションの脳の分子神経基盤の解明
- Analysis of blow-up phenomena for nonlinear parabolic equations
- 刺胞動物を用いた内分泌系の起源解明:PRXamide 神経ペプチドの祖先的機能は何か?
- 翻訳速度変化を介した新生タンパク質の転座制御機構の解明
- Connecting elastic and inertial polymeric turbulence
- 局所ストレスが茎頂で誘導するDNAメチル化とそれを司る移動性シグナル分子の解析
- 頭足類の視覚システムにおける発達過程の構造的・分子的な解析
- マイクロ流路内における密度差起因の循環流の発生条件特定および理論構築
- The 2nd brick-Brauer-Thrall conjecture via tau-tilting theory and representation varieties
- Light-Driven Cellulose Nanocrystals Enabled by Photochromic Molecular Switch
- Effects of transverse spin and chirality of light by particles trapping near the evanescent field
- Enzyme engineering to protect unstable metabolic intermediates in synthetic pathways
- 最も多様なアリ, ウロコアリ属の比較研究から迫る, 社会生活史戦略の多様化メカニズム
- Phenotypic consequences of a modern human-specific amino acid substitution in ADSL
- Uncovering the evolutionary patterns of the Aculeata stinger
- Phylogenomics of scale insects and their evolution with endosymbiotic microorganisms
- Elucidating the role of Cnot3 in regulating social behavior in Autism Spectrum Disorder
- Investigating the Trustworthiness of Deep Pre-trained and Self-supervised Learned Model.
- Machine learning tool to facilitate microplastic analysis
- 懸濁液の衝撃誘因硬化応答の粘弾性挙動に関する実験研究
- Impact of Genetic Variations on Muscle Physiology During Hominin Evolution
- Genome of the Asian giant hornet (*Vespa mandarinia japonica*) and venom evolution in Hymenoptera
- 微小流体デバイスを用いた血管模倣環境での細菌-細胞増殖ダイナミクスと表現型ゆらぎ
- 植物と菌根菌共生から紐解く、植物群集の決定要因の緯度クライ
- 都市に成立する微生物群集および土壌環境の解明とその健全化手法の検証
- 超速1分子追跡で挑む、液状ナノ複合体のシグナル統合機構の解明
- SnRNA-seqを用いた手指の巧緻性に関与する神経機構の解明
- Neuronal mechanisms for song memory guided vocal learning in the developmental critical period
- カイラル結晶アルルを用いたスピン偏極走査トンネル顕微鏡の開発
- 文化的影響を考慮した、報酬・罰感受性プロファイルの開発
- How Affective Touch Encodes Pleasant Emotions in The Brain.
- 持続可能なエネルギーの代替としての電子伝達用タンパク質ワイヤーの設計
- 時間分解光電子運動量顕微鏡を用いたフォノン駆動トポロジカル相転移の研究
- Moire ferroelectricity -a new pathway to align quantum emitters in hBN
- Exploring Hydrodynamic Phenomena in Strongly Correlated Systems through Viscosity of 2D Electrons on Helium
- 量子機械学習における自然量子系による情報処理とその優位性の発現メカニズムの解明
- Emotional responding to reinforcement in children with ADHD
- Investigating dopaminergic modulation by acetylcholine during associative learning.
- Elucidating the interplay between m6A methylation and CCR4-NOT during IAV infection
- Synergizing Hierarchical-Shallow Networks with Reservoir Computing under the Free Energy Principle Framework
- Genome replication timing and optimal resource allocation in *E. coli*
- Representations of twisted tensor products of Hopf and Frobenius algebras with a view toward cohomological support
- コケ植物から迫る原形質連絡形成の新規分子モデルの解明
- アリ化石の記録から見出す進化史上の絶滅パターン
- イネにおけるストレス応答のエピジェネティック制御の解明
- ククシラゲPou転写因子群の機能解析で迫る神経の進化的起源
- ダイヤモンド中のスピンを用いた極低温量子マイクロ波増幅装置の開発
- ランドスケープジェネティクス的手法を用いた共生メタコミュニティ維持システムの解明
- 営業型別の行動比較に基づくシロアリの社会性進化プロセスの解明
- 乾燥起因の圧縮下にある粒子安定化液滴の合一に要する臨界分離圧の解明
- 共生宿主細胞を用いたサンゴ-褐虫藻共生系のモデル確立と分子機構の解明
- 極度の神経可塑性から保護された記憶:人工冬眠からの洞察
- 細胞周期依存的なダイニンアダプターのスイッチング機構
- 細胞膜修復因子の網羅的同定と膜損傷部位への新規輸送機構の解明
- 身体モジュレーションと神経モジュレーションによる心身機能の改善

研究基盤(S)

挑戦的研究(開拓・萌芽)

若手研究

特別研究員奨励費

	<ul style="list-style-type: none"> - 前障による大脳皮質ダイナミクスの制御とそのセロトニンによる神経修飾 - 相互作用が競合する2次元量子磁石のスピン励起性質の探求 - 報酬や罰の感受性に基づくADHDのアセスメント法の開発、および実用性の検討 - 縫線体性感覚の神経?星状膠細胞ネットワークの機能発達における幼少期ストレスの影響 - 再生可能エネルギーの統計物理学: 間欠性と極端事象 - 細胞膜損傷に起因する細胞老化における新規miRNAの役割 - 腸管Th細胞の細胞膜損傷適応機構とその生理学的意義の解明 - 最小タンパク質の設計: 最小ロスマンフォールドの探索と小型抗体への応用 - 機能性ペプチドグラフによる多機能抗真菌酵素の創製 - 新たなレベルの制御? 混雑した微小環境における一過性のクレスサイクル複合体の追跡 - 後生動物の進化におけるHIF経路の起源と保存性 - 有機蓄光応用のための発光メカニズムと分子骨格の探求 - ダイヤモンド中の不純物スピン集団を用いたマイクロ波-光量子変換器の開発 - 数理モデルを用いたアストロサイトによるシナプス機能及び可塑性への寄与の解明 - 椎魚生理学に基づく沿岸域モニタリングシステムの開発 - 膝β細胞におけるmRNAの分解制御に着目した糖尿病の病態メカニズムの解明 - ワーキングメモリパラダイムを用いた注意変調の神経機構の解明 - ポリフルオレン誘導体を用いた機能性蛍光材料の開発 - 海馬CA1層におけるアストロサイト多様性を創出する分子基盤の探索 - 頭足類における特殊化した付属肢 触腕の進化過程 - 軟質粒子懸濁液の流動現象を明らかにする流体応力の非定常全視野計測法の創出 - 偏頭痛モデルとしての皮質拡張性抑制がもたらす海馬性記憶の障害とそのメカニズム - 高速度量子通信のためのファイバー-体型ダイヤモンドベース量子鍵配送システムの開発 - 分割ホイールを用いた運動適応におけるブルキンエ細胞群のカルシウムシグナル活動 - 粘弾性流体中のマイクロ繊維毛状構造周辺における波模様創発機構の解明 - 新型連続体ロボットの効率的なモデリング - 細菌集団立体化における微小環境駆動的な力学的相互作用を介した細胞外マトリクス生産 - 極限環境から紐解く、群集構築ルールのストレス勾配に沿った変化 - 内部モデルの更新が運動主体感に与える影響と、運動主体感の拡張性の調査 - 鉛・亜鉛汚染地における健全土壌の再生成に向けた植物-微生物相互作用の解明 - クマノミ類の老化と長寿における環境の影響とは? - ADHD児童の社会的能力の基礎研究: 他者への期待と責任の割り当て - 量子物理試験および精密測定のための高質量浮遊オプトメカニクス - 手指の巧緻動作獲得に関わる神経基盤のシングル核RNA解析による解明 - 脳におけるA-touch神経回路の追跡 - ARPES-STMによるカゴメ超伝導体超薄膜の研究 - 根粒形成時におけるレグヘモグロビンの新機能の解明 - 巧緻運動(手先の細かい動き)に関わる脳-脊髄神経回路群の同定とその制御機構の解明 - 半乾燥生態系での植物-根圏微生物相互作用系を活用した緑化技術の開発 - 宇宙空間からの高エネルギー粒子降下による極域大気変容の南北共役性の研究 - 根粒共生の起源を探る: 原始的根粒共生を司る根粒菌エフェクターの機能解明
国際共同研究加速基金(帰国発展研究)	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	<ul style="list-style-type: none"> - 細菌集団トポロジー解析と空間オミクスによる多細胞生物学的形態形成の理解
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	
学術変革領域研究(A)	<ul style="list-style-type: none"> - 推定と制御の双対性に基づく感覚野と運動野の神経回路機構の解明 - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム - 低温状態での脳機能動態 - 冬眠生物学2.0 総括班 - 予測と行動の統一理論の開拓と検証・総括班 - 音声コミュニケーション機能を段階的に創発する神経発達機構 - 大規模数値計算と実物質データで切り開くランダム量子フラストラート系の新奇磁性現象 - 自由エネルギー原理を拡張したメタ認知適応に関する理論及びロボット実験研究 - アストロサイトによるシナプス強度不均衡の創発と学習における役割 - スピン相関が拓く創発物性 - 超分子複合体「紡錘体」形成を担う3つの微小管生成経路の連携機構 - ナノグラフエンの2D/3Dハイブリッド化を基軸とした高度π分子体の創製 - π分子複雑性の追究が紡く機能科学 - クオリア構造の現象学 - クオリア構造学: 主観的意識体験を科学的客観性へと橋渡しする超分野融合領域の創成 - Architecture, Regulation and Performance of Mitotic Stress Memory - Compact plasmonic nanoantenna for the radiation of single photons carrying intrinsic orbital angular momentum - 植物ミトコンドリア特異的エピゲノム編集ツールの開発と評価
学術変革領域研究(B)	<ul style="list-style-type: none"> - 共生が必要・不要な近縁種から探る共生における物質の役割 - 大腸菌における『生命-非生命転移境界』の可逆的横断
学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成)	
日本学術振興会調査研究費	<ul style="list-style-type: none"> - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム - リュードベリ・マイクロセルにおける非定常光の統合光源 - FY2025 JSPS Postdoctoral Fellowship for Research in Japan (Short-term(PE)) - シロアリの繁殖方法の進化 - クライオ電子顕微鏡を用いた刺胞動物のアクチン細胞骨格の構造解明
笹川科学研究助成金	<ul style="list-style-type: none"> - サンゴ礁における離岸流の現地観測と高精度数値モデリング
長尾自然環境財団	<ul style="list-style-type: none"> - フリビンの河川産魚類相、特に通し回遊魚類相の解析
HFSP研究グラント	<ul style="list-style-type: none"> - Deciphering the evolution, cellular biology and biogeochemistry of symbioses in anaerobic eukaryotes - Decoding invisibility: from genome evolution to tissue optical properties in transparent fish
橋渡し研究プログラム	<ul style="list-style-type: none"> - 遺伝子治療用リボスイッチ制御化合物の構造展開
日本しるあり対策協会研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - モデル生物化に向けたシロアリ創設方法の確立
国文研プロジェクト型共同研究	<ul style="list-style-type: none"> - 古典籍と自然アーカイブの対比による宇宙気候研究
スタート	<ul style="list-style-type: none"> - Design and Development of half sandwich Bimetallic Complexes for Anti-Markovnikov Hydrogenation of Alkenes - Molecular and structural atlas of Symbiodinium uptake by Aiptasia from isolate symbiotic cells to whole organisms - タンポポの形態と分散パターンの未来予測 - Effects of environmental changes on protistan symbioses
公益財団法人井上科学振興財団	<ul style="list-style-type: none"> - 細胞分裂サイクルの新概念 2026 -初期発生から、癌、老化に至るまで
テルモ生命科学振興財団	<ul style="list-style-type: none"> - 細胞分裂周期に関する新概念2026: 初期発生からがんおよび老化まで
放送文化基金	<ul style="list-style-type: none"> - 超小型3波長オーロラ計測カメラシステムの開発
公益財団法人 上原記念生命科学財団	<ul style="list-style-type: none"> - 細胞分裂サイクルの新概念 2026 -初期発生から、癌、老化に至るまで-
Google East Asia PhD Fellowship Program	<ul style="list-style-type: none"> - 2025-2026 PhD Fellowship
内藤記念女性研究者研究助成金	<ul style="list-style-type: none"> - 越シナプス順行性ウイルスとカルシウムイメージングを用いて、野生型およびASDモデルマウスの脳におけるA-touch神経回路基盤とその社会性への影響を解析する

18. 関連公益法人等に関する明細

1. FRIENDS OF OIST, INC.

(1) 業務の概要

- ① 沖縄科学技術大学院大学及び米国、日本及び海外の共同研究者が実施する研究及び教育の活動支援を通じて、世界の課題に取り組む科学技術を促進する。
- ② 米国での沖縄科学技術大学院大学及びその研究プログラムの認知度を高め、国際的に影響を与えることにより、日本発の科学技術による研究と教育のグローバル化を推進する。
- ③ イノベーション、起業家精神、世界のニーズに対応する科学技術の知識の活用を支援する環境を促進することで、沖縄の自立的な経済成長に寄与する。

(2) 法人と学園との関係

理事等のうち、学園の役員又は教職員経験者の占める割合が三分の一以上である公益法人等

(3) 法人に対する役員の関係

当学園の元理事の一人であるジェローム・フリードマン氏は、Friends of OIST, INC.の理事を務めております。

(4) 役員氏名

- ① ジェローム・フリードマン 理事
- ② マクリン・幸子 理事

(5) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、抛出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等はありません。

(6) 法人に対する取引の状況

該当はありません。

2. Okinawa Institute of Science and Technology Foundation, INC.

(1) 業務の概要

米国内において企業・個人から幅広く寄附金を募ることにより、

- ① 沖縄科学技術大学院大学における科学技術研究及び関連プログラムの向上と結びつきの強化を通して、世界規模での科学の飛躍的な発展を促進する。
- ② 沖縄科学技術大学院大学を通じて米国人に沖縄の継続的発展を自発的に支援し日米関係を深める為の力を与える。

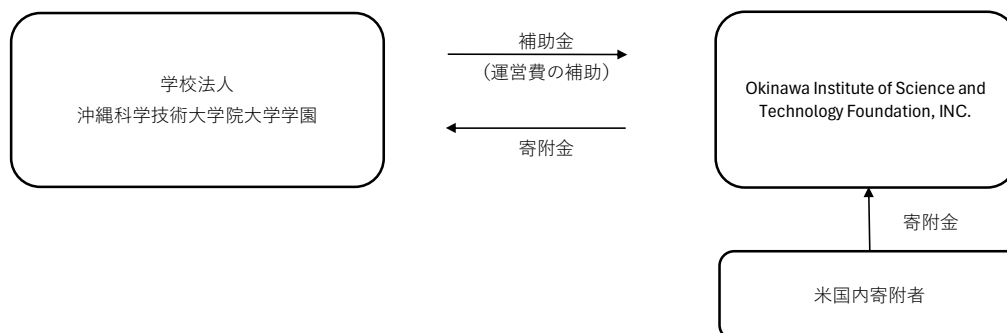
(2) 法人と学園との関係

事業収入に占める学園との取引に掛かる額が三分の一以上である公益法人等

(3) 役員氏名

- ① 上島 剛 理事長
- ② ジュリー・メイヤー・ライト 副理事長
- ③ ロンダ・ドナホー 理事(財務担当)

(4) 取引の関連図



(5) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、抛出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等の明細は以下のとおりです。

運営費の補助 USD250,000

(6) 法人に対する取引の状況

- ① 法人に対する債権債務の明細
該当ありません。
- ② 沖縄科学技術大学院大学が行っている法人に対する債務保証の明細
該当ありません。
- ③ 法人との取引の明細
寄附金の受領6件 10,512,984円